

平成30年度 第1回 東海村スポーツ推進計画推進委員会会議録

1	開催日時	平成31年1月28日(月) 18時00分から20時05分まで
2	場所	東海村役場 2階 205会議室
3	出席者 (敬称略)	<委員> 鈴木範英, 大関達也, 吉沼玲子, 澤畠京子, 石丸美代子, 田畑由紀子, 小泉親彦, 竹下浩一, 川崎明彦, 松坂晃, 杉山章子, 橋本礼子 <事務局> 庄司真澄(教育部長), 大道雄治(国体・スポーツ推進課長), 平根忠義(国体・スポーツ推進課長補佐), 吉成大秀(国体・スポーツ推進課長補佐), 物井聡(国体・スポーツ推進課係長), 大森みなみ(国体・スポーツ推進課主事)
4	欠席者 (敬称略)	塚原美光, 久保田泰世, 植田裕美
5	公開又は 非公開の別	公開
6	非公開の理由	—
7	協議・説明事項	(1) スポーツ実施状況について (2) スポーツ推進計画の進捗状況について
8	配布資料	・スポーツ実施状況について／東海まつりニュースポーツ体験／体力・運動能力調査《資料1》 ・東海村スポーツ推進計画の進捗管理シート《資料2》 ・ジュニア運動遊び教室業務概要(案)
9	発言内容	※委員長及び副委員長選出は出席予定の全委員参集後とし, 議事は事務局にて進行。 ■議事進行: 国体・スポーツ推進課長 (1) スポーツ実施状況について ○ 配布資料の説明…資料1 委員) 今年度実施したアンケート調査では, “スポーツ” の定義が記載されているか。スポーツの定義にウォーキングは含まれているか。忙しくてスポーツをする時間がなかなか取れない働

	き世代でも、毎日、ウォーキングをしている人もいる。ウォーキングをスポーツと捉えていない人は、アンケートでもスポーツを実施していないと回答しているかもしれない。その差が今回のスポーツ実施率の結果にも影響している可能性がある。 事務局) スポーツの定義については今回のアンケートでは明記されていない。スポーツ推進計画策定の際に実施したアンケートでは、軽運動もスポーツに含むとしている。今後、スポーツの実施状況に係るアンケート調査を行う際は、ウォーキングも含めるとしたスポーツの定義について明記する。 委員) 体力・運動能力調査で、普段全くスポーツをしないと答えている参加者がいるが、スポーツをしないのに、何故、体力・運動能力調査に参加したのか疑問である。 事務局) 体力・運動能力調査の客体確保のため、スポーツをしているかどうかは考慮せず、役場職員に参加協力を求めた結果が影響している可能性もある。ただし、各自、自分の体力の状況を把握したいとの思いを持って参加している。 (2) スポーツ推進計画の進捗状況について ○ 配布資料の説明…資料2 (基本目標1) 事務局) 小学校での児童の外遊びはどのような現状か。 委員) 晴天時は外で遊んでいる児童が多い。ただし、グラウンドが狭い小学校はボール運動を行うスペースが限られる。 委員) 達成指標の現状値(H30)について、前年度調査時より中学2年女子以外の数値が下がっているが、理由はあるか。 事務局) 理由は不明であるが、年度によってばらつきが出る可能性もある。 委員) 施策1-②の主な取組である「親子でのスポーツ機会の充実」の実施主体としてスマイルTOKAI、(公財)東海村文化・スポーツ振興財団、体育協会、スポーツ少年団の名前が挙げたが、他の団体等との協力も検討しているのか。スポーツ推進委員との連携も想定しているのか。 事務局) 協議する実施主体については現在検討中であり、推薦団
--	---

	体等があれば御意見をいただきたい。スポーツ推進委員の皆さんには協力いただきたいと考えている。 事務局) 現在のスポーツ少年団加盟率はどの程度か。 委員) 種目によって加盟率にばらつきがある。サッカーは人気があるが、年によって加盟率は異なる。子どもが少ない地区は加盟率も低い。 事務局) コミセンでの子どもの外遊びについて伺いたい。 委員) コミセンに来る子どもは携帯ゲームをしている。コミセンは運動施設ではないということもあり、子どもにとって運動する場としては定着していない。 委員) 舟石川近隣公園で運動している人をよく見かける。コミセンの広場ではボールを蹴ることもできない。現在工事中である河川敷も課題が多いと思うが、活用されることを楽しみにしている。 事務局) スポーツ推進計画では、数値目標として4年後に村内成人の週1回以上のスポーツ実施率を60%以上とすることを掲げている。一方、基本目標1では子どもをメインターゲットとした施策を掲げており、長期的な視点で子どもたちが運動を継続できるような取組みが大事であると考えている。運動部活動指導員やスポーツ推進委員が、中学生のスポーツ活動を支える受け皿になれば良いと考えている。 【結果（基本目標1）】 進捗管理シートについて修正意見なし。 ○ 配布資料の説明…資料2（基本目標2） 委員) 施策2-①の主な取組に「プロスポーツ応援観戦ツアー等の開催」とあるが、2019年は茨城国体が開催される。東海村で開催されるホッケー競技以外にも、近隣だと日立市では卓球や新体操、ひたちなか市では陸上や女子サッカー、常陸太田市では成年男女ソフトボール等の種目が開催される。仕事の関係で2018年の茨城国体リハーサル大会ではほとんどの競
--	---

	技を見たが、大変刺激になった。子どもたちも様々な競技を観戦することで刺激を受け、スポーツを始めるきっかけにもなるのではないかと。来年度に限られるが、国体期間中は県内で実施される様々なスポーツを観戦するよう促す取組を進めてもらいたい。 事務局) 東海村で開催するホッケー競技については、学校観戦として、村内小中学生が応援観戦できる機会を設ける。ホッケー競技に限らず様々な競技を観戦することは、スポーツへの興味関心のきっかけづくりにもなるので、他の種目の観戦案内も行っていきたい。 事務局) 中学生は近隣であれば自転車で観戦に行けるが、小学生は難しい。休日であれば親子でも見に行ける。国内のトップアスリートを親子で観戦する機会をPRできればと思う。 委員) 国体期間中、学校は休みになるのか。 事務局) 小中学校は通常通りだが、東海高校については国体期間中休校となる。東海高校生にはボランティアとして運営に協力してもらいたいと考えている。 【結果（基本目標2）】 進捗管理シートについて修正意見なし。 ○ 配布資料の説明…資料2（基本目標3） 委員) ニュースポーツ広場整備について、整備後の運用について考えなくてはならない。 事務局) 同広場の整備については芝生を貼り、自由広場として使ってもらうことを想定している。 委員) ニュースポーツ広場の駐車場は計画されているのか。 事務局) 広場の両側に整備する予定でいる。一番の問題はトイレや手洗い等の水回り関係であるが、常設トイレは堤防の外側にしか設置ができない。 委員) ニュースポーツ広場が完成すれば人が集まるため、周辺環境の整備をどう進めていくかが大事になる。
--	--

	事務局) ニュースポーツ広場の整備に合わせ、利用方法等についても村民へPRしていきたい。 委員) グラウンドの利用者は、付近のトイレ管理や倉庫借用等、周辺の地権者や設置者と様々な関係づくりを行った歴史がある。ニュースポーツ広場もそのような運用をしていくと人が集まってくる。 【結果（基本目標3）】 進捗管理シートについて修正意見なし。 ■ 委員長及び副委員長選出 ＜委員長＞松坂晃 ＜副委員長＞杉山章子 ■ その他 【ジュニア運動遊び教室業務概要（案）について】 委員長) 運動能力が低い子どもや運動が苦手な子ども、障害をもった子どもは運動との接点が難しい。その解決のためには運動に親しむ機会を設け、運動の楽しさを感じてもらうことが大事である。そこで、運動に親しむきっかけづくりを提供する遊び運動教室の開催を考えており、これが口コミで広がっていけば良いと思う。教室の実施にあたっては、運動が苦手な子どもだけで活動するのではなく、最終目標は運動が得意な子どもたちとも一緒に活動できるようになればと考えている。 事務局) 運動が苦手な子どもを対象とする場合、どのように募集することが望ましいか。 委員) 以前実施した運動教室で、運動が好きな子も嫌いな子も苦手な子も区別なく募集をかけたことがある。運動ができるかどうかを自分で判断できない子もいるので、まずは対象を制限しないで募集してもよいと思う。 委員) 「運動が嫌いな子どもたち」と参加対象を最初から限定するのではなく、例えば小学校のお昼休み等に子ども達全員を対
--	--

	象に運動遊びを実施し、その後保護者会等で「運動が苦手な子どもを対象にした運動遊び教室」の案内を行うこともできるだろう。一度教室を体験していれば、子ども達も参加するハードルが低くなる。 委員)「運動嫌い」といっても実際は嫌いではなく、好きになるきっかけがなかっただけの子どももいる。「嫌いな子」と言わず、「みんなでやってみよう」と投げかければ自分もできるかもしれないと参加する子どもたちも多いと思う。 委員)遊びで運動を行うことが鍵である。 委員)会場を体育館としているが、そこは限定せずに講師が学校の昼休みに出向いても良い。運動が嫌いな子と限定はせずに、呼びかけて集まってもらえば良いと思う。 委員)スポーツができる子、できない子と区別せず指導していると、できる子ができない子を教え始める。そのような関係の中で、運動ができない子も楽しく運動できる。 委員)運動ができない子も指導すればできるようになる。体力がなくてもできる運動を教えてあげれば良い。 委員)リーダー的存在の子がいると全体を引っ張ってくれる。できない子だけを対象にするのではなく、対象学年全員を募集する方法でも良いと思う。 委員)各学校を巡回して、「なわとび」「的当て」「フリスビー」等の各種目をグラウンド内に分けて設置すると良い。1つの種目しかない、その種目が苦手な子、興味がない子は参加しないので、子どもが種目を選べるよう複数の種目を準備すると良い。 委員)みんなで楽しくできるものが良い。 事務局)いただいた御意見を整理し、実施方法を改めて検討する。
10 今後の予定	協議事項に大きな修正がなかったため、今年度の委員会は本日のみ。 来年度は、11月頃と1月下旬に委員会を開催予定。